

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-324
研究課題名 東日本大震災発生後のアトピー性皮膚炎患者の症状変化と生活状況調査
研究期間 西暦 2014年9月（倫理委員会承認後）～2014年11月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 診療録 ）
上記材料の採取期間 西暦 2010年3月1日～2011年4月20日
意義、目的 東日本大震災発生がアトピー性皮膚炎患者さんの症状にどのように影響したか、また震災発生による生活環境の変化および治療状況の変化が症状に与えた影響を調べることを目的としています。この研究の実施により、アトピー性皮膚炎治療における生活習慣管理の重要性を検証します。さらに、再び同様の事態が生じた際、アトピー性皮膚炎患者さんに対してどのような点に注意すべきかを明らかにする意義があります。
方法 2011年3月14日から2011年4月20日までの間に東北大学病院皮膚科、東北薬科大学病院皮膚科、落合ゆり子皮膚科クリニック、東照宮駅前皮膚科クリニックを受診したアトピー性皮膚炎患者さんの診療録の記載を基に、震災発生後の症状変化（悪化・不変・改善）と震災後の生活状況（入浴、食事、居住環境）や治療状況について調査します。対象となる患者さんの情報は、氏名、生年月日、住所、電話番号といった個人を特定できるデータは取り除き、誰のものか分からない状態にして解析いたします。
問い合わせ・苦情等の窓口 この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせください。御自身や御家族の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、2014年10月31日までに下記連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。 <問い合わせ・連絡先> 東北大学医学系研究科皮膚科学分野 相場節也 小澤麻紀 住所：〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 電話：022-717-7271 ファックス：022-717-7361 メールアドレス：derma@med.tohoku.ac.jp